

2008年6月25日

世界最高水準の水蒸気バリア性を実現した高機能フィルム
「X-BARRIER™」を世界市場で展開

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田 宏）は、世界最高水準の水蒸気バリア性を実現した透明バリアフィルム・シート「X-BARRIER」を本年7月1日に上市します。すでにメーカーへのサンプル評価を始めており、その性能が実証されたことから、今般、国内のみならず、世界市場に向けて展開を始めることとしました。

「X-BARRIER」は、その一部品種が透明フィルムとして世界最高水準となる 10^{-4} (g/(m²・d)) レベルの水蒸気バリア性を実現した画期的なフィルムです。優れた水蒸気バリア性に加え、酸素・二酸化炭素バリアなどの各種ガスバリア性を併せ持つほか、耐熱性や耐高温高湿性、耐候性、耐屈曲性などの機能性を顧客のニーズに合わせてカスタマイズが可能なソリューションがご提案出来る高機能フィルムです。

従来のバリア性フィルムは、主として包装材料分野をターゲット市場にしていたが、将来的に普及が期待されている情報電子分野においても、フレキシブルな製品が開発できるだけでなく、生産性の極めて高い「ロールtoロールプロセス*」の採用が可能となり、革新的なコスト削減が期待できます。当社の「X-BARRIER」は、それらのキーマテリアル部材として、次世代ディスプレイや太陽電池の工業化促進にも大きく貢献し、高度医療や医薬品向け包装材なども含め3年後には、50億円の販売を目指してまいります。また同時に、技術改良を進め、さらなる水蒸気バリア性の向上を今後も追求してまいります。

【将来的な用途】

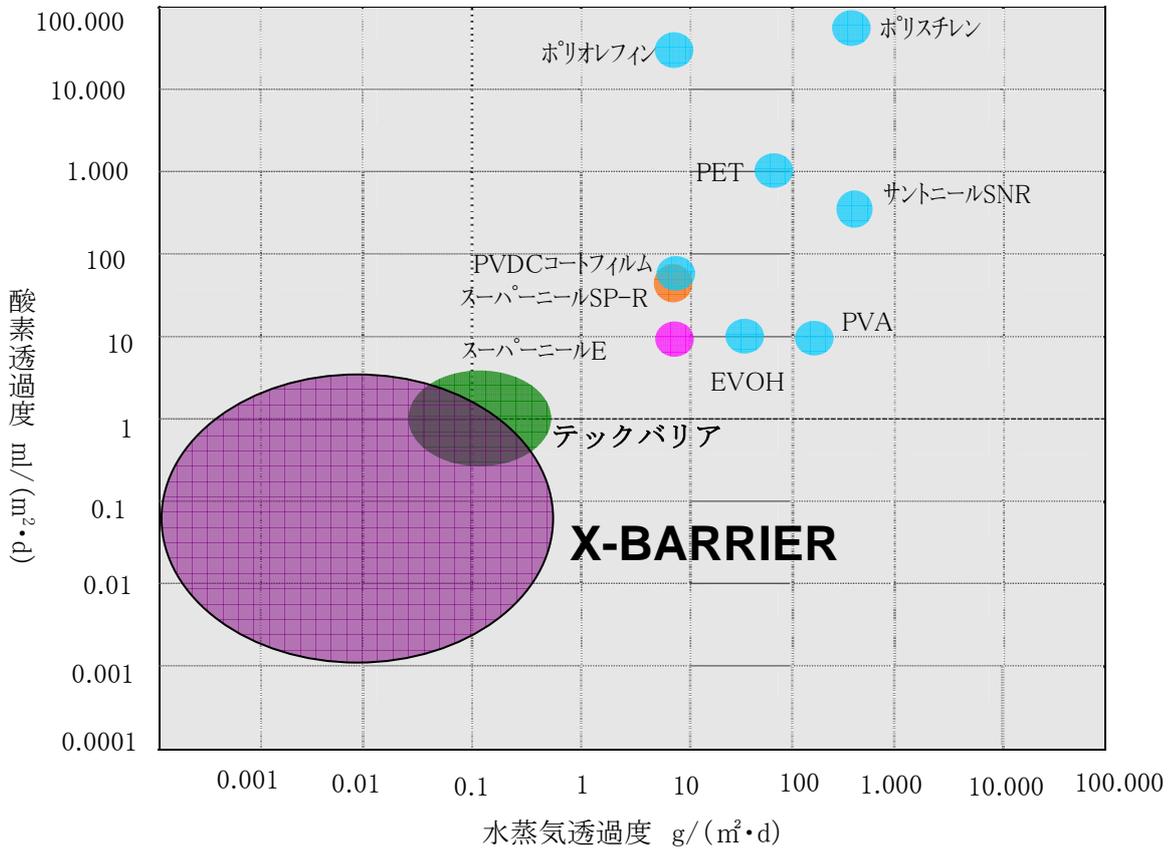
- | | |
|------------|----------------------------------------------|
| (1) 情報電子分野 | 半導体チップ、デバイスボード
有機ELディスプレイ、有機太陽電池、電子ペーパーなど |
| (2) 包装材料分野 | カテーテルや手術用針、糸などの医療用具、目薬やコンタクトレンズなどの医療品 |

【解説】

* ロールtoロールプロセス

印刷工程のように、ロール状のフィルム基板に有機半導体材料などを組み込んで各種デバイスを製造する工程。

【当社他製品および一般フィルムとのガスバリア比較マップ】



※テックバリア :透明フィルムとして最高レベルのガスバリア性を誇る当社のシリカ蒸着フィルム

※スーパーニール :当社のハイガスバリア二軸延伸ナイロンフィルム

※サントニール :当社の二軸延伸ナイロンフィルム

※上記データはラミネート品での測定結果の一例で、厳密なものではありません。

＜本件に関するお問合せ先＞
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室
TEL:03-3279-3800